



第 18 回 例会 報告 (11月6日)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数	53名	・ 出席数	40名	・ 欠席数	13名
・ 当日出席率	80.43%	・ 前々回修正出席率	96.30%		

<欠席会員>原、木原、木村、松木、森岡、村上(裕)、田中(良)、竹田

[免除会員] 青野(明)、原田、檜垣(巧)、川上、宮本

<10/18 欠席補填>(10/21 今治北) 吉良

◇幹事報告・今月のロータリーレートは1ドル106円です。

ロータリー財団委員会アワー

◆平尾浩一郎委員長: 去る9月7日に開催された、地区財団セミナーを基に話します。まずは佐々木ガバナーが挨拶をした後、地区の現状報告をした。続いて岩渕均第一ゾーン RRFC (Regional Rotary Foundation Coordinator) による～ロータリー財団「未来の夢計画」の目指すもの～をテーマに基調講演が行なわれた。初めに、国際ロータリーやロータリー財団の使命、また中核的価値観である奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップについての説明があった。▼「未来の夢計画」とは、ロータリークラブの認知度が世間一般で低いため、もっと多方面において知ってもらう為の、ロータリー財団のプログラムである。国際ロータリーの戦略計画である、財団のプログラムや運営の簡素化、全世界および地元への活動支援、公共イメージを高めるなど内容的に重なっている。▼2014-15年度の財団目標として、①ポリオの撲滅。②慈善事業の支援。③教育的・人道的プログラムへの参加。④ロータリー平和センタープログラムを通じての世界理解、親善、平和を育む。⑤財団の未来への強調。と5つの目標を掲げている。今後の財団プログラムは最優先課題として、WHO、CDC、ユニセフ、ロータリーの4団体が2013年～2018年まで55億ドルの予算をかけ、「ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画」を行う。他に、平和フェローとして若人に世界の6つの大学で、平和研究や紛争解決に関して修士課程で研究する機会を提供する。また、ロータリー財団補助金として地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グランドの3種類の補助金を提供する。グローバル補助金には①人道的プログラム、②グローバル補助金奨学金、③職業研修チーム(医療系)の3つのプログラムがある。長期的に大きな成果が期待できる、大規模で国際的な活動を支える補助金である。地区補助金は、ロータリアンが地元や海外で財団の使命に沿った短期の活動やプロジェクトを実施するために活用できる補助金である。今年度当クラブからは、地区補助金を使ったプログラムを予定している。▼ロータリー財団の活動を支える資金は、年次寄付(使用するための寄付)や基金寄付(貯めるための寄付)、使途指名寄付(ポリオ・プラス)などである。年次寄付の日本の目標は1人150ドル、実績は130～138ドル。世界平均では100ドル程度である。引き続き寄付のご協力を宜しくお願いします。



次 回 例 会 (11月13日)

【 新 会 員 卓 話 】

< 会員誕生日祝 >	大澤 正尚氏 (11/13)	眞鍋 次男氏 (11/16)	渡邊 道信氏 (11/26)
< 配偶者誕生日祝 >	青野 淳一氏 (11/18)	木原 盛展氏 (11/26)	
< 入会記念日祝 >	高木 幹男氏 (11/25)	青野 明高氏 (11/26)	

[俵 屋]